

鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和10年3月31日までです。

① 研究課題名	社会人野球におけるトラッキングデータに関する研究
② 対象者及び対象期間	2020 年から 2023 年の日本野球連盟（Japan Amateur Baseball Association：以下、JABA と称す）が主催する都市対抗野球大会および社会人野球日本選手権大会の本戦に出場したチームに所属する社会人野球選手を対象。
③ 概要	研究目的 本研究は社会人野球におけるトラッキングデータの分析を行い、メジャーリーグや日本プロ野球のトラッキングデータとの比較を行います。 方法 JABA は、主催する都市対抗野球大会および社会人野球日本選手権大会において、2020 年から Trackman（Trackman 社製）という機器にてトラッキングデータを取得しています。そのトラッキングデータを用いて分析を行います。 トラッキングデータには、投球速度、ボールの回転数、ボールのリリース位置、打球速度、打球角度および飛距離などが含まれる。
③ 研究の目的・意義	野球において、試合で得られたデータを統計学的見地から客観的に分析し、選手の評価および戦略を考案する分析手法をセイバーメトリクス（SABRmetrics）という。また、選手やボールの動きを高速かつ高精度に解析するためのトラッキングシステムが2010年代中盤からMLBやNPBに導入され、それから得られるデータはトラッキングデータと呼ばれている。セイバーメトリクスとトラッキングデータを併用することで、ピッチングやバッティングに限らず走塁や守備に関する新たな指標が多数生み出されている。しかしながら、アマチュア野球におけるトラッキングデータに関する知見はない。そこで本研究にて、社会人野球におけるトラッキングデータに関する知見を獲得し、MLB や NPB のトラッキングデータと比較することで、アマチュア野球のパフォーマンス向上に寄与する。
④ 研究期間	倫理審査承認日から令和 10 年 3 月 31 日まで
⑥ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	2020 年から 2023 年の JABA が主催する都市対抗野球大会および社会人野球日本選手権大会の本戦の際に取得したデータを使用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。本研究は、JABA から依頼を受けた研究であり、取得した情報は研究参加機関にて電子的配信で共有します。
⑦ 利用または提供する情報の項目	トラッキングデータ（投球速度、ボールの回転数および打球速度など）およびセイバーメトリクスにて算出されたスタッツ（防御率、打率、長打率など）

⑧利用の範囲	鹿屋体育大学・スポーツイノベーション推進機構・特任助教・鈴木智晴 鹿屋体育大学・スポーツ・武道実践科学系・講師・藤井雅文
⑨研究試料・情報の管理について責任を有する者 (お問い合わせ先)	鹿屋体育大学・スポーツイノベーション推進機構・特任助教・鈴木智晴 Tel : 0994-46-5034 E-mai : c-suzuki@nifs-k.ac.jp
⑩事務局	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係 Tel : 0994-46-4820 E-mail : kokusai@nifs-k.ac.jp

以下は、過去に承認されることがある場合

⑪承認番号	
⑫過去の研究課題名と研究責任者	